

八木山小だより



学校教育目標「自立心のある子」

令和6年10月25日発行

後期スタート 関わり合い 高め合い 磨き合う



10月17日に後期がスタートして早半月が過ぎました。前期終業式では、2年生の渡辺さん、4年生の曾根さん、6年生の松本さんの3名の代表児童が、前期の自分の宝もの（成長）を発表しました。

4年生曾根さんの宝もの発表では、企画委員として「ハロード」の取組でがんばったことについて話しました。

「（略）みんなが元気にあいさつができるようになってほしいから、まずは自分が元気よく相手の目を見てあいさつすることをしました。すると、元気にあいさつを返してくれる人が増えてきました。全校をよくしていくためには、まずは、自分がかんばっている姿を見てもらうことが大切だとわかりました。これからも、企画委員として全校のお手本になれるようにがんばっていきたいです。」



企画委員の取組を通して学んだことを後期に生かしていきたいという曾根さんの思いが伝わりました。

前期に仲間との関わりを通して得られた力や学びを、さらに高め合い、磨き合う後期にしていきたいと考えています。そして、3月には、どの子どもどの学級も、成長した自分に自信をもち、学び合えた仲間や周りの人たちに感謝の心をもって、1つ上の学校・学年に進んでほしいと願っています。

☆11月6日（水）は「鶉沼中学校区あいさつの日」

鶉沼中学校区学校運営協議会は6月、11月の第1水曜日を「あいさつの日」として、保護者や地域の皆さん、地域の企業の皆さんにご協力いただき、子どもたちに「社会性」を育むこと目指して取り組んでいます。朝のお忙しい時間ではありますが、6日の「あいさつの日」には、子どもたちの集合場所や自宅前、通学路などで、子どもたちとあいさつを交わしていただけると幸いです。ご協力よろしく願いいたします。



☆愛校活動 ご協力ありがとうございました

10月12日に予定していた愛校活動を実施することができました。朝早くから、たくさん子どもたちと保護者の方々に集まっていただき、運動場の草取りを行いました。雑草が運動場の中まで生え始めていたこともあり、子どもたちの活動の妨げになるのではないかと心配していましたが、1時間でゴミ袋50袋の草を取ることができ、安全に活動できるスペースが広がりました。草の入った重くなった袋を何度も運んで、最後まで取り組む子どもたちの姿に清々しさを感じました。保護者の皆様にはご協力いただきありがとうございました。

